

長野県上田染谷丘高等学校の「3つの方針」

◇上田染谷丘高校は高い文化力を養い続けてきた学校です◇

上田染谷丘高校は、個人の能力伸長とともに、他者との多様性・協働性を大切にしながら、高い文化力を養い続けています。文化とは、いわば「心」を耕すもの、耕された土壌が、美しい花を咲かせ、豊かな実りを生むように、文化は新たな世界を創造する力です。一人一人が感性を磨き、自分たちの地域の歴史や自然に誇りを持ち、付加価値を高めていくことが、未来の社会の変革や発展につながるのです。本校120年の伝統は、この「高い文化力」に支えられているのです。

I 生徒育成方針 ～「全人教育」～

本校の教育目標は、佐藤春夫作詞の校歌に、「深き^{まこと}真実を身に染めて」「強き命を^{つちか}培ひて」「清き心を励まして」と歌われるように、知・徳・体の調和のとれた人物を育成することです。

- 他者を思いやり、考えの違う人とも互いを尊重して協働し合える人
- 柔軟で多様な視点を持ち、対話を通して課題解決を図ろうとする人
- 物事の真偽や是非を適切に判断し、自らの知見と洞察力を磨こうとする人
- 地球規模で考え、足元から行動する グローカル (Think Globally and Act Locally) な視点を持つ人
- なりたい自分をあきらめない、創り上げたい社会をあきらめない粘り強い人

II 教育課程編成・実施方針 ～「好き」を学びに～

「いざや 学びて 遊ばまし」(よく学び、よく遊べ)〈校歌より〉

〈遊ぶ〉とは、①自分のしたいと思うことに、わくわくしながら取り組むこと

②学芸を修めたり、見聞を広めたりするために、広い世界に飛び出すこと

本校は校歌の精神を大切にし、有用・無用という価値判断ではなく、生徒一人一人の「好き」を、学びにしてほしいと願っています。

【共通】

- 学習の基本である授業を通して、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- 「総合的な探究の時間」を、教科横断的な学びとし、ICT、図書館等を活用し、問題発見、情報収集・分析から仮説に至る問題解決学習に取り組み、主体的に学ぶ態度を養う。
- 県内外の大学、地域社会等でのフィールドワークや、語学研修旅行などを通して、社会に対する広い視野や、進路実現に向けての意志を育む。
- 教科活動や教科外活動全般を通して、多様性、主体性、協働性を養う。

【普通科】

- 教養教育の文理融合の精神を踏まえ、各教科・科目の学習内容を幅広く学び、進級とともに、多様な科目選択により、一人一人の進路実現を図る。

【国際教養科】

- 共通科目の他、第二外国語をはじめとする特色ある専門科目を開講するとともに、台湾修学旅行等、国際交流事業を通して、専門性を高める。

III 生徒募集方針 ～来たれ 染谷の丘に～

- 幅広くどの教科の学習にも真面目に取り組み、常に向上心を持って意欲的に学習に取り組む人
- 授業だけでなく、学級活動や部活動、生徒会活動等に積極的に取り組む人
- 多様な人々や地域社会との交流に積極的に取り組み、意欲的に人と関わって学ぼうとする人